

高速交通ネットワークを軸とした石川～福井における広域観光活性化計画

計画の概要

温泉や優れた自然景観、歴史・文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と福井県が密接に連携し、優れた地域資源の充実を図るとともに、北陸新幹線の金沢開業、中部縦貫自動車道の整備促進等、石川県と福井県の高速度交通体系が大きく進展することを契機として、高速交通ネットワークを軸とした観光拠点施設同士を連絡する広域的な周遊観光ルートを整備することにより、観光交流人口を増大させ、地域振興を図る。



- 凡 例
- 拠点施設
 - 基幹事業



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

北陸新幹線、各自動車道等を軸とした豊かな観光資源の活用による観光客数の増加

2. 目標を定量化する主な指標

石川・福井両県の観光入込客数増加
H25 2,643万人→H31 3,204万人(561万人増)

3. 主な事業

観光拠点へのアクセス向上のための道路整備、連携して実施する広域観光情報提供

福井と滋賀を結ぶ旧街道を軸とする福井滋賀交流圏域における広域観光活性化計画

計画の概要

福井県と滋賀県は「鯖街道」、「北国街道」、「塩津街道」といった旧街道で結ばれており、周辺には多くの歴史的遺産を有しているほか、豊かな自然景観を生かした観光施設が多数存在している。中部北陸圏の知名度向上を図る「昇龍道プロジェクト」とあわせて、これらの旧街道から各観光拠点のアクセス強化を図り、広域的な観光活性化に向けた基盤を整備することにより、福井県、滋賀県における観光入込客数の増加など地域の活性化を図る。



- 凡 例
- 拠点施設
 - 基幹事業



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

旧街道で繋がる両県の観光拠点へのアクセス強化により、広域的な観光の活性化を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

【滋賀県・福井県共通】観光入込客数の増加
H25 1,659万人→H31 1,868万人 (209万人増)

3. 主な事業

観光拠点へのアクセス向上のための道路整備

世界遺産「富士山」を中心とした山梨静岡交流圏域活性化計画

計画の概要

世界遺産「富士山」及び「韮山反射炉」や「伊豆半島ジオパーク」等の世界標準の資産を活かし、富士山周辺や伊豆半島に分布する観光圏域へのアクセス性を高めることにより、山梨静岡交流圏域の広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を図る。



- 凡例
- 拠点施設
 - 基幹事業



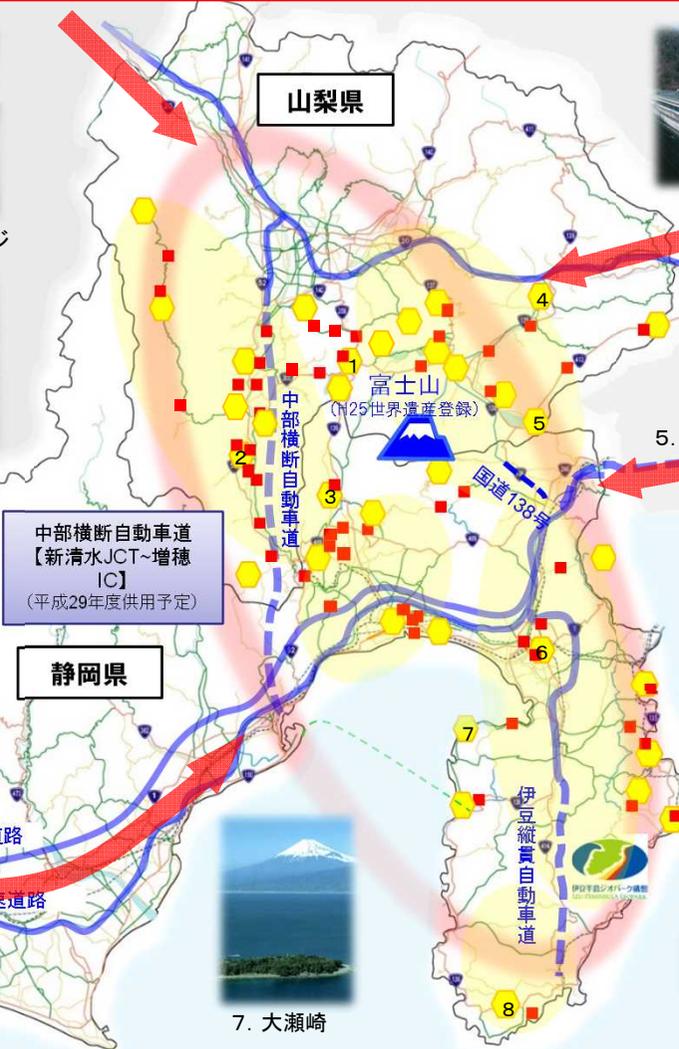
1. 精進湖キャンプコテージ



2. 身延山久遠寺



3. 白糸の滝



4. リニア見学センター



5. 山中湖交流プラザきらら



6. 三島大社

伊豆縦貫自動車道
(天城北道路)
(平成30年度供用予定)



8. 下賀茂温泉

計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

山梨県、静岡県の両県に跨がる世界遺産「富士山」を中心とする山梨静岡交流圏域において、観光地へのアクセスを強化するとともに、豊かな暮らしを実感できる、交流・連携した取組を通じて、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、交流圏の観光活性化を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

観光入込客数の増加
H25 103,208千人 → H31 108,974千人 (5,766千人増)

3. 主な事業

観光拠点へのアクセス向上のための道路整備、港湾整備
観光拠点の魅力・安全度を高めるための河川整備
両県が連携して行う広域観光情報提供

岐阜・滋賀交流圏域における観光振興による広域的地域活性化計画

計画の概要

岐阜県岐阜・西濃地域、滋賀県湖北地域は、名城に代表される戦国時代の歴史を継承する観光資源を有するだけでなく、中部北陸圏の知名度向上を図る「昇龍道プロジェクト」の構成地域に属しており、高速道路を基軸とした観光客の誘致に力を注いでいるところである。

これまで魅力的な観光資源が交通の不便さにより逃避されていたが、名神高速道路、北陸自動車道にスマートインターチェンジが開設される予定（H27：養老SIC、H28：小谷城SIC・安八SIC）となり、観光客を誘致しやすい環境が整備されつつある。加えて、東海環状自動車道西回りの開通が見込まれていることから、当該地域においても各地の主要拠点を結ぶアクセス道路の整備や、インターチェンジ周辺地域の交通機能の強化等、広域的な地域活性化に資する事業を推進する。

位置図

岐阜県

滋賀県

凡 例

- 拠点施設
- 基幹事業

1. 小谷城地区

3. 関ヶ原町歴史民俗資料館

計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

両県の魅力的な拠点を有機的に結びつけるアクセス道路の整備を推進し、岐阜・滋賀交流圏域の広域的な地域活性化を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

観光入込客数の増加
 H26 2,398万人 → H31 2,819万人 (421万人増)

3. 主な事業

観光拠点へのアクセス向上のための道路整備

2. 長浜観光拠点集積地区

- (A) 養老SIC (H27 予定)
- (B) 小谷城SIC (H28 予定)
- (C) 安八SIC (H28 予定)

4. 養老公園

5. 河川環境楽園

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」などの観光資源を活用した紀伊地域の活性化

計画の概要

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核に歴史・文化・自然を生かした数多くの観光資源を有する和歌山県・三重県が連携して、拠点施設への道路ネットワークの形成を図るとともに、併せて両県が共同で地域の魅力を発信する観光誘客を図ることで、紀伊地域の交流の促進、地域の活性化を図る。



計画期間 平成27年度～平成31年度

- ### 1. 計画の目標

広域的な道路ネットワークの形成を図るとともに、併せて観光誘客を推進することで、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした広域的な交流の促進、地域の活性化を図る。
- ### 2. 目標を定量化する主な指標

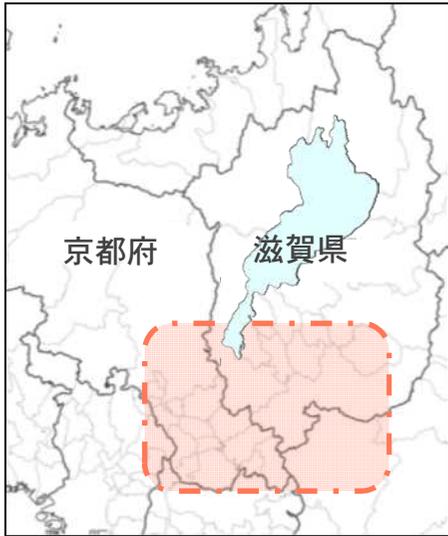
和歌山県、三重県の観光客入込客数の増加
 H25 7,100万人 → H31 7,300万人
 (200万人増)
- ### 3. 主な事業

観光拠点へのアクセス向上のための道路整備
 和歌山県・三重県が共同した観光情報提供

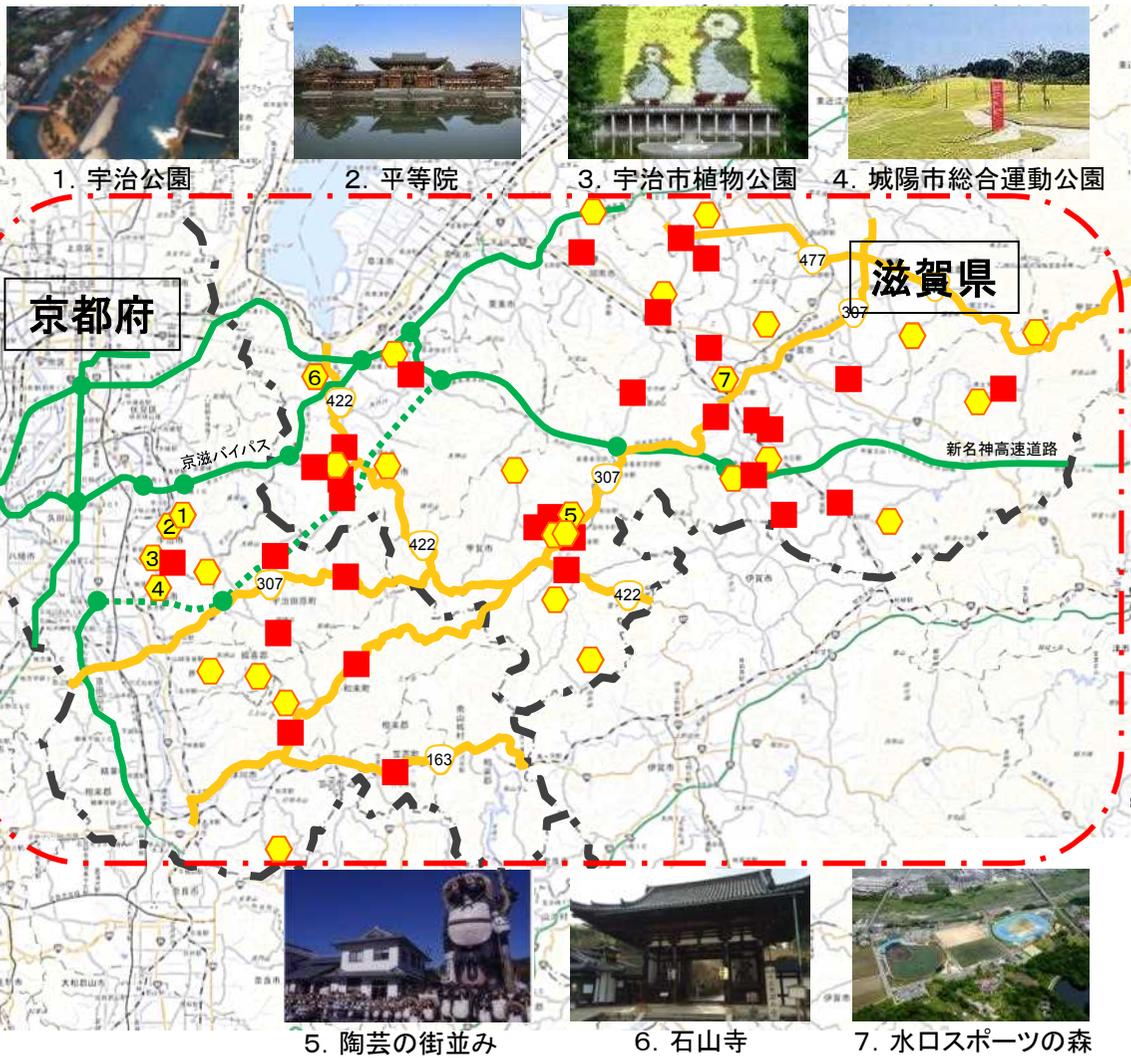
滋賀・京都交流圏域における観光・スポーツ振興による広域的地域活性化計画

計画の概要

滋賀県南部地域と京都府山城地域においては、観光資源や多様なスポーツの拠点が数多く分布しており、また、新たなニーズに対応したスポーツ施設の整備や観光施設のリニューアルなどもあり、観光拠点としてポテンシャルを秘めた地域である。このため、観光・スポーツ拠点や交流軸となる国道307号といったアクセス道路整備などの基盤整備を実施し、当地域の広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を図る。



- 凡 例
- 拠点施設
 - 基幹事業



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標
 滋賀県、京都府が連携し、観光・スポーツ拠点整備、拠点施設へのアクセス性を向上させ、府県域を超えた広域的な観光振興を促進させることにより地域の活性化を図る

2. 目標を定量化する主な指標
 観光入込客数の増加
 H25 2,183万人 → H31 2,299万人 (116万人増)

3. 主な事業
 観光拠点へのアクセス向上のための道路整備
 当地域の魅力向上を図る公園整備



北部九州地域への来訪促進戦略(広域的観光活性化)

計画の概要

九州新幹線の全線開業（H23.3）に加え、東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC H28年春開通目標）の開通を契機に、九州道、大分道、東九州道の広域観光周遊ルートが形成され、移動の効率化が進み、全国各地から北部九州地域（福岡県、大分県）への観光客の増加が期待される。

また、海外からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・新幹線駅・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。



凡 例

- 拠点施設
- 基幹事業



1. 太宰府天満宮



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標
北部九州地域における広域的な観光活性化

2. 目標を定量化する主な指標
延べ宿泊者数の増加
H25 2,069万人 → H31 2,317万人 (248万人増)

3. 主な事業
観光拠点へのアクセス向上のための道路整備・港湾整備
観光拠点と一体となって親水性を高める河川整備

上信越地域における広域的産業・物流活性化

計画の概要

群馬県・新潟県・長野県においては、3県をつなぐ高規格幹線道路（関越道・上信越道・北関東道・長野道・北陸道）が整備済みであり、さらに現在、中部横断道・上信自動車道等の高規格道路の新設整備や港湾（新潟港・直江津港）の拡張整備を行っている。これにより、物流効率化に資する交通結末点の整備が進み、産業立地のポテンシャルがこれまで以上に高まっている。

このポテンシャルを活かし、交通結末点と物流拠点とのアクセスをさらに強化することにより、海外及び国内へ3県の産業製品の販路拡大を支え、本地域のさらなる産業活性化を図る。



- 凡 例
- ◆ 拠点施設
 - 基幹事業

計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

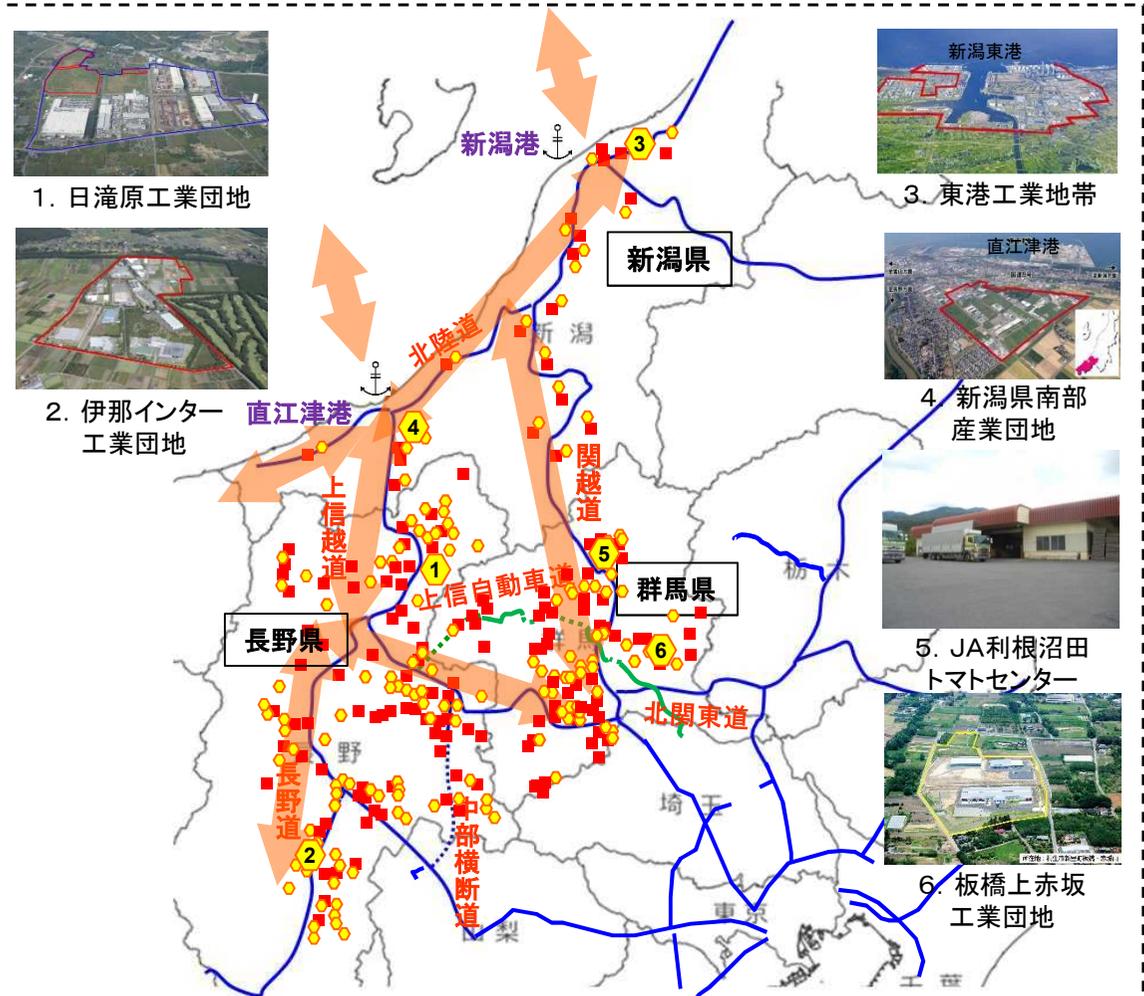
交通結末点（高規格道路、港湾）と各県の物流拠点を有機的に結びつけ、海外及び国内へ3県の産業製品の販路拡大を支え、本地域のさらなる産業活性化を図る。

2. 目標を定量化する主な指標

連携する3県における産業生産額の増加
 H27 117,106億円
 →H31 125,920億円(8,814億円増)

3. 主な事業

物流拠点とのアクセス向上のための道路整備



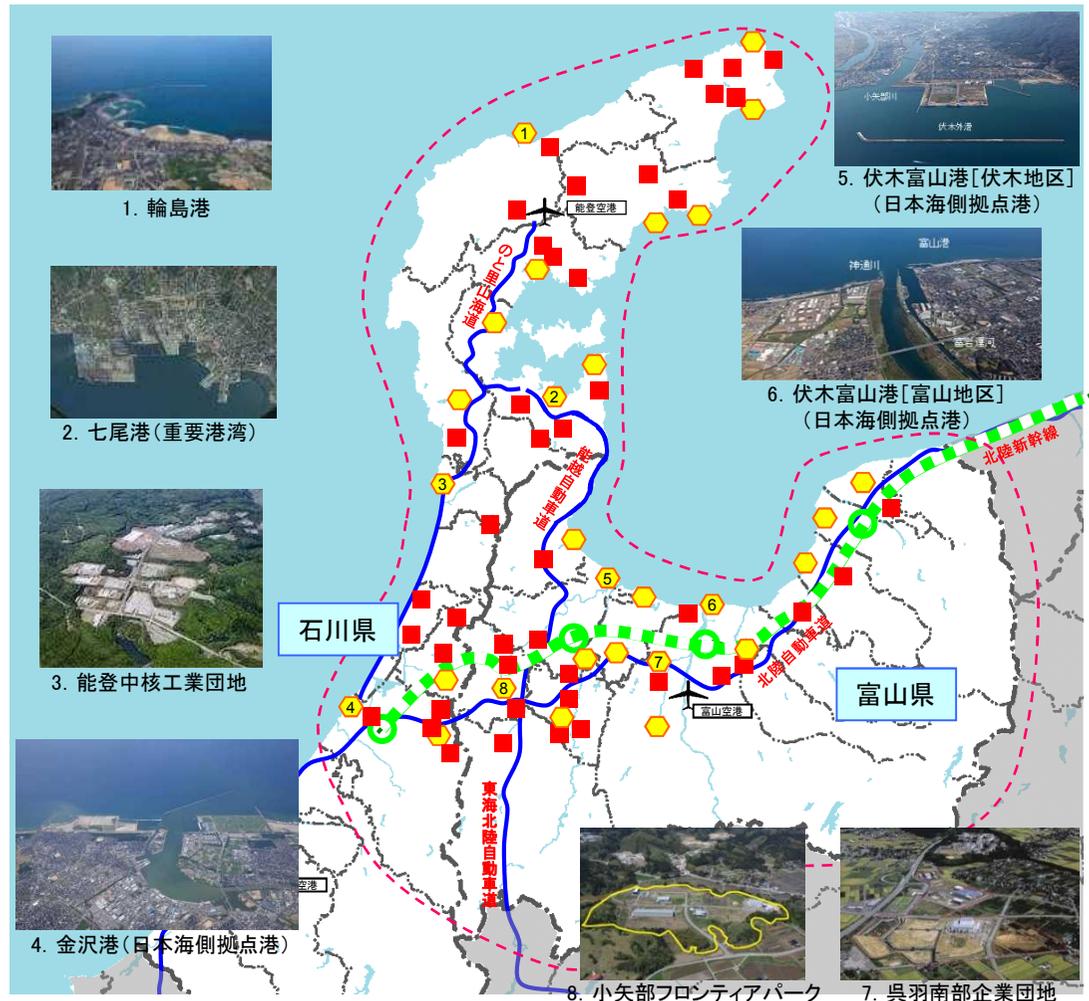
石川・富山における広域的な産業物流活性化計画

計画の概要

石川県と富山県にはそれぞれ、「能登空港」や「金沢港」そして「富山空港」や「伏木富山港」といった物流の拠点となる施設を数多く有しており、これらに加え、北陸新幹線の金沢開業、能越自動車道の整備促進等、石川県と富山県に新たな高速ネットワークが誕生することとなる。石川・富山の主力産業である機械産業の事業活動を促進するための基盤整備等を実施することにより、これらの広域的な物流結節点との相互アクセス性や物流の効率性を高めることで産業経済活動の競争力を向上させる。



- 凡 例
- 拠点施設
 - 基幹事業



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標

広域的な物流結節点との相互アクセス性等を高めることにより、産業経済活動の競争力を向上させる

2. 目標を定量化する主な指標 (案)

製造品(機械・金属)出荷額
 H25: 28,271億円 → H31: 33,600億円 (5,329億円増)

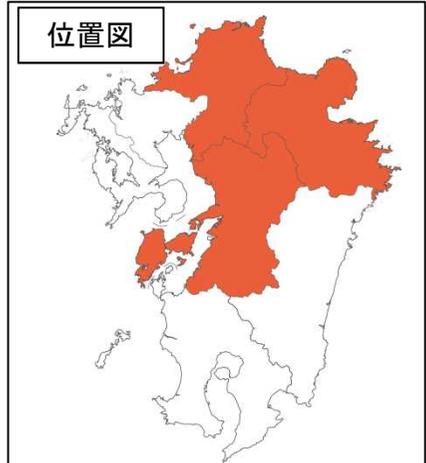
3. 主な事業

物流拠点へのアクセス向上のための道路整備

北部九州地域における産業活性化戦略(広域的な物流の効率性向上)

計画の概要

九州北部地域（福岡県、大分県、熊本県）の主力産業である自動車関連、半導体関連等の事業活動を促進するための基盤整備などを実施することにより、広域的な物流結節点（空港・港湾・高速道路IC）との相互アクセス性や物流の効率性を高め、産業経済活動の国際競争力の向上と地域の自立を促進させる。



計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標
北部九州地域における産業経済活動の国際競争力を向上

2. 目標を定量化する主な指標
製造品出荷額等
H24 11.56兆円 → H31 12.30兆円(0.74兆円増)

3. 主な事業
物流拠点へのアクセス向上のための道路整備や港湾の改良